

# Unit5 Japanese Summer Festival

## ～夏休み思い出グランプリ(想像可)～

本単元で育成する資質・能力

(学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性

- 1 日 時 令和3年9月21日 12:55～13:45
- 2 学 年 第1学年1組 (男子18名 女子17名 合計35名)
- 3 場 所 新館1F 1年1組教室
- 4 単元について

## ○ 教材観

本単元では、単元を終了した後の生徒の姿として「夏休みの思い出をALTやクラスメイトに紹介する文を書くことができる」を設定し、言語材料を学ぶ中で自分の体験について簡単な文章を書くことが出来る事を目標とする。また、単元のはじめと終わりに同じ課題に挑戦し、その変容を見とることで生徒が単元の中で自身の成長を実感できる事を目指している。言語材料は前置詞(名詞の後置修飾を含む)、動名詞、一般動詞とbe動詞の過去形を扱う。これらの材料を組み合わせることで、自身が体験したことについて叙述することが出来るため、最終的には単元を貫く課題を達成できるように段階を追って学習していく。本単元では、学習指導要領における目標(5)書くことア「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。」を指導することと位置付ける。

## ○ 生徒観

本学級の生徒は、英語の学習に意欲的な生徒が多く、アンケートで「英語の授業は楽しいか」という質問に対し84.3%の生徒が肯定的な回答をしている。授業中にも積極的に質問をする姿や、自分の考えをクラスメイトと共有し確認し合う姿が見られる。生徒たちは小学校から英語で挨拶や自己紹介など簡単な会話をする活動に慣れ親しんでいるため英語を話すことに抵抗感は強くないが、中学校からの文法や正確性に重きを置いた文章を書くことに苦手意識を持っている生徒が少なからずいる。このことは「英語を書くことに自信はあるか」という質問に対して否定的な回答をした生徒が43.9%いたことから読み取れる。

## ○ 指導観

本単元で設定されている言語材料については、小学校ですでに触れているものではあるが、特に動名詞と過去形については動詞の形を変化させて用いる表現であり、難易度が高いため、繰り返し言語活動で使用させ、その形に慣れさせていく必要がある。いずれも物事について叙述するためには必須の表現であるため、最終的には教科書本文でMegが行なっているスピーチをモデルとしながら生徒自信の身近な体験について、自信の感想も含めて短い文章が書ける所を目標とさせたい。書くことに苦手意識を感じている生徒に対する手立てとして、言語材料で扱う表現に対して十分に音声で慣れ親しんでから文を書く活動に取り組むことや、生徒が書いた作品に対するルーブリックを示しておくことで、生徒が文を書く際に何に注意して取り組めば良いのかを提示できるように留意する。また、生徒間でアドバイスを行う事で活動中にも生徒一人一人に対して細かなフィードバックが与えられる事を目指す。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出の自粛のため、夏休みの思い出に何を紹介すればいいのか困る生徒がいるため、実際の思い出に限らず、「こんなことがしたかった」「できていたらよかったな」と言った想像の思い出であっても良いこととした。

## 5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

資質・能力	知識・スキル			意欲・態度	
	表現力・コミュニケーション能力			主体性	
レベル1	授業の展開の場面で（ミニホワイトボード等を使用して）	（話す speak） ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	（聞く） ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問することができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。
レベル2		（話す tell） ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	（聴く） ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	（やりとり） ○話を聞いて、内容を深めるために質問ができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル3		（話す talk） ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	（訊く） ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	（やりとり） ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル4		自らが司会をして、少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

## 6 単元目標

○ 書くこと ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。

7 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に向かう態度
<p>&lt;知識&gt; 前置詞, like[enjoy] …ing, be good at …ing, 動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>&lt;技能&gt; 前置詞, like[enjoy] …ing, be good at …ing, 動詞の過去形を用いた文の理解をもとに, 好きなことや得意なこと, 体験したことなどについて書く技能を身につけている。</p>	<p>自分の事をよりよく知ってもらうために, 好きなことや得意なこと, 体験したことなどについて, 簡単な語句や文を用いて書いている。</p>	<p>自分の事をよりよく知ってもらうために, 好きな事や得意な事, 体験したことなどについて, 簡単な語句を用いて書こうとしている。</p>

8 指導計画 (全 10 時間)

過程	次	学習内容 (時数)	観 点			評 価	
			知 技	思 表 判	主 態	評価規準	資質・能力 (評価方法)
課題の設定	1	既習事項で課題をどの程度達成できるのか把握し, 今後の学習の見通しを持つ。 (1 時間)	○			既習事項を習得している。	活動の観察
	<p><b>本質的な問い</b> 人の印象に残る文章とはどのようなものだろう。</p> <p><b>単元を貫く問い (探究課題の萌芽)</b> 夏休み思い出グランプリをしよう! (想像可)</p>						
情報収集	2	前置詞を用いた文の形・意味・用法の理解 (1 時間)	○			ア 前置詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	知識・技能 [ペーパーテスト]
	3	本文内容理解 (1 時間)	○			ア 前置詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。	知識・技能 [ペーパーテスト]
	4	like[enjoy] …ing, be good at …ing を用いた文の形・意味・用法の理解 (1 時間)	○			ア like[enjoy] …ing, be good at …ing を用いた文の形・意味・用法を理解している。	知識・技能 [ペーパーテスト]

情報収集	5	本文内容理解 自己表現活動 (1時間)	○	◎	ア like[enjoy] …ing, be good at …ing を用いた文の形・意味・用法を理解している。 イ 自分の事をよりよく知ってもらうために、好きなことや得意なこと、体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて書いている。	知識・技能 [ペーパーテスト] 思考・表現・判断 [活動の観察]
	6	動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法の理解 (1時間)	○		ア 動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	知識・技能 [ペーパーテスト]
	7	本文内容理解 自己表現活動 (1時間)	○	◎	ア 動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 イ 自分の事をよりよく知ってもらうために、好きなことや得意なこと、体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて書いている。	知識・技能 [ペーパーテスト] 思考・表現・判断 [活動の観察]
整理	8	学習してきた言語材料の定着 (1時間)	○		ア 前置詞, like[enjoy] …ing, be good at …ing, 動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。	知識・技能 [ペーパーテスト] 思考・表現・判断 [活動の観察]
実行	9	学習してきた言語材料を使って夏休みの思い出を紹介する文を書く。 [本時]	◎	○	ア 前置詞, like[enjoy] …ing, be good at …ing, 動詞の過去形を用いた文の理解をもとに、好きなことや得意なこと、体験したことなどについて語順を意識しながら正しく書いている。	知識・技能 [ペーパーテスト] 思考・表現・判断 [活動の観察] 主体的に学ぶ態度 [ワークシート]
振り返り	10	生徒の作品からグランプリを選び、その共通点について話し合う。 単元の振り返りを行い、単元のはじめからの変容を見とる。 (1時間)		○ ◎	ウ 自分の事をよりよく知ってもらうために、好きな事や得意な事、体験したことなどについて、簡単な語句を用いて書こうとしている。	主体的に学ぶ態度 [振り返り]
<p>単元を貫く問いの終結</p> <p>夏休みの思い出を ALT やクラスメイトに紹介する文を書くことができる</p> <p>本質的な問いの終結 (予想)</p> <p>人の印象に残る文章とは、話の道筋が整っており、独創的な文章である。</p>						

## 9 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・語順を意識しながら、正しい文を書くことができるようになる。

### (2) 本時の評価規準

- ・前置詞, like[enjoy] …ing, be good at …ing, 動詞の過去形を用いながら、夏休みに体験したこと（したかったこと）を書くことができる。[知識・技能]
- ・自分の事をよりよく知ってもらうために、好きな事や得意な事、体験したことなどについて、簡単な語句を用いて書こうとしている。[主体的に学習に向かう態度]

### (3) 準備物

- ・パソコン ・テレビ ・ワークシート ・相互評価用スプレッドシート ・授業スライド

(4) 学習の流れ (8 時間目 / 全 9 時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力【評価方法】
<b>1 既習事項の確認。[10分]</b>		
○前時までの活動の確認	◇既習事項を確認させる。 ◆ここでは文を書くことはせず、音声提示によって本単元で習ってきた言語材料や語彙を確認することで音声に慣れ親しむ事を目指す。	知識・技能 [ペーパーテスト]
<b>2 本時のねらいを確認する。[2分]</b>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     ねらい                      語順を意識しながら、正しい文を書くことができるようになる。                 </div>		
<b>3 情報を整理・分析し、課題解決の見通しを持つ [15分]</b>		
日本語で夏休みの思い出について <いつ><どこで><誰と> <何を><どうだった> の項目でメモを書く。  英語で文を話すとき(書くとき)の語順について推測を立てる。  自分の夏休みの思い出についてお互いに伝え合う活動をする。	◇分からない単語や表現があれば Chromebook を使って調べるように指導する。 ◇教科書の例文をもとに話すとき(書くとき)の語順について推測を立てる。  ◆1 の既習事項の確認で扱った、音声で慣れ親しんだ例文を用いる。	知識・技能 [ワークシート]
<b>4 課題解決をする。[15分]</b>		
[10分] 個人で夏休みの思い出を紹介する文章をワークシートの①に書く。 [5分] グループでワークシートを交換し、お互いの文章を読み合い、ループリックを使い評価をしてスプレッドシートに記入する。	◇生徒同士で文頭の大文字や文末のピリオド、語順などを厳格に評価するように指導する。 ◇分からない単語や表現があれば Chromebook を使って調べるように指導する。ただし自力で英語の文章を書く技能を育てる観点から翻訳機能を使うことは禁止する。  ◆どうやってクラスメイトの文を評価すれば良いのかを明確にするために、評価の例をワークシート裏面に載せておく。	知識・技能 [ペーパーテスト] 思考・表現・判断 [活動の観察] 主体的に学ぶ態度 [ワークシート]

単元を  
貫く問い

思考を  
促す  
学び合い

ICTの  
活用

予測される生徒の考え

**A評価** In summer vacation, I went to sea with my family. I'm good at swimming, so it was really fun. After we swam in the sea, we enjoyed BBQ at the beach. I want to go there next year again.

**B評価** I went to beach. We enjoyed swimming in the sea. It was really fun.

**7 本時を振り返り、次時につなげる。[7分]**

○振り返りを書く。

生徒の振り返りの例

- ・英語の文を書くときの語順に気をつけて、夏休みの思い出を書くことが出来た。
- ・友だちと評価し合ったので、注意するポイントが分かった。

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック（パフォーマンス評価）

尺度（評点・レベル）	記述語
A（理想的）	前置詞, like[enjoy] …ing, be good at …ing, 動詞の過去形を用いながら、夏休みに体験したこと（したかったこと）を5文以上の英文で語順や語句を正確に書いている。
B（合格）	前置詞, like[enjoy] …ing, be good at …ing, 動詞の過去形を用いながら、夏休みに体験したこと（したかったこと）を3～4文の英文で1～2個程度の間違ひはあるものの正確に書いている。
C（乗り越えさせたい実態）	前置詞, like[enjoy] …ing, be good at …ing, 動詞の過去形を用いながら、夏休みに体験したこと（したかったこと）を書けていない。

(5) 板書計画

<b>Unit5</b> 夏休み思い出グランプリ(想像可)	00:00	Tuesday, September twenty-first
<b>Task</b> 夏休みの思い出を紹介する文を書こう。		Sunny
<b>Today's goal</b>	<p>&lt;語順に気をつけよう!&gt;</p> <p>Yesterday, I went to the summer festival with Asami, Josh, and Kaito.</p> <p>I ate a big candy apple. It was delicious.</p> <p>We enjoyed dancing there.</p> <p>I had a great time.</p>	
相手に分かりやすい文で、夏休みの思い出を書くことが出来る。		
<p><b>Rules</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 4文以上に挑戦しよう</li> <li>- 前置詞, 動名詞, 過去形を使おう</li> <li>- 想像でもOK!</li> </ul>		